Every Sun 小学生のみんなが主役！の 信毎こども新聞 投稿コーナー ラインアップ！

毎週日曜日、「信毎こども新聞」を読んでくれてありがとう！ こども新聞にはいろんなコーナーがあるけれど、なかでもみんなが主役の投稿コーナーをここでまとめて紹介します。これからも記事や写真、イラストをどしどし送ってくださいね。みんなからの投稿を待ってます！

伝えたいことがあったら記事にしよう！

むちゅう ねっちゅう

【投稿の仕方】
記事（700字くらい）を写真（数枚）といっしょに送ってね。

みんなのつぶやき 大募集！

聞いてよ!!

ぼくの わたしの キ・モ・チ

【投稿の仕方】
テーマは毎月ちがいます。クロスワードの答えのはがきに100字くらいでコメントしてね。

写真だから伝わることがある。

写真でニュース

【投稿の仕方】
これだ！という写真1枚を記事（400字くらい）といっしょに送ってね。

はがきはでっかいキャンバスだ！

りきさく

【投稿の仕方】
はがきに、自由にイラストをえがいてね。

記事にする話題やテーマはどうやって決めるの？

伝えたいことが記事になるよ！

話題を無理矢理さがさなくても、学校や家、地域などでの生活の中で、自分だけでなく「ほかの人にも伝えたい」ということがあったら、それが、記事を書く出発点になるよ！

記者に大切なのは好奇心。

「これは何だろう」「おかしいな」「おもしろい！」と思ったら、まずは調べてみよう（いろいろなことで忙しいかもしれないけれどね）。そして、興味がもっと出てきたら、記事にすればいいよ。

インタビューではいろいろ会話してみよう！

取材で人にインタビューする時は、あらかじめ決めておいたことを聞くだけでなく、いろいろ会話してみよう。相手からおもしろい話題が思いがけずに飛び出すこともあるんだ。まわりの人とのふだんの会話でもそうだよ。ただし、相手に時間があるかどうかも気をつけてね。

ここに送ってね！

新聞にのる時には信毎の記者から連絡がいくよ！

〒380-8546 長野市県657
信濃毎日新聞地域活動部「こども新聞」係

*名前（ふりがな）、住所、電話番号、学年も忘れずに書いてね！
*こども記者クラブ専用の原稿用紙があるけれど、記事を書く用紙はなんでもOK！ 専用の原稿用紙がほしい人は、こども記者クラブに連絡してね！
*わからないことがあったら、信毎こども記者クラブ（電話026-236-3110）にいつでも気軽に電話してね！ 記事を書く前の相談にものるよ。

こども記者 年間大賞 12月26日付こども新聞で発表！

今年一年間で、こども新聞にのったこども記者の記事の中で、もっともおもしろかった記事を、信毎こども記者クラブ特別審査員が選びます。グランプリのこども記者にはデジカメをプレゼント！ 26日付紙面をお楽しみに！

信毎の新聞語 第9版

【独自ダネ】 どく・じ・だね

役所や警察などが発表したニュースではなく、記者が自分なりの見方や情報網で見つけた独自の話題。「特ダネ」はスクープとも言って、独自ダネの中でも、ほかの新聞社などもすぐに記事にしないといけないくらいの大きなニュース。

ここだけのヒミツ！ ベテラン記者の失敗談

一年生 16本目

初は みんな 最初は

【入社10年目】地域活動部の新メンバー 長沼佳史 記者

あの方は一体だれ!?

仕事を始めて4カ月たった7月末の夜、初めて選挙の開票を取材する日でした。新聞社にとって選挙は力が入る取材の一つ。社内はいつにも増して緊張感がありました。

「他社に勝つ」にかけ、豚カツの弁当をもらった後、車で担当の東筑摩郡朝日村の開票所へ向かいました。レタスの産地で有名な村。初めての場所でしたが、地図も準備して早めに出発、いざとなれば携帯電話で聞けば大丈夫―と、フンフン鼻歌交じりに運転していました。

ふと気付くと、辺りは真っ暗で、灯りがまったく見えません。先輩は20分くらいで着くと言っていたのにおかしい。会社に到着の報告をする時間まで3分しかありません。焦って携帯電話を開くと、圏外のマーク。飛ばして遠くまで来すぎてしまったか…。

怒られることを想像するだけで身震いするのに、真っ暗闇にただ1人。半泣きでぐるぐる運転していたその時、何かがきらっと光りました。ライトで照らすと、地面にしゃがみこんだ人です。慌てて車から降り、「すみません、役場ってどこですか」と叫びました。

すると男性はすくっと立ち「着いてこい」。姿を消したと思ったら、どこからか軽トラに乗って現れ、私の車を先導し、役場に着くとそのまま去って行きました。

後日、お礼を言いたいと目星を付けた場所に行きましたが、辺りはレタスの畑が続くだけ。あの人は誰だったのだろう。今では淡い恋心のようになって胸にひっかかっています。

2011年1月1日の元旦、信濃毎日新聞の正月特別号で、長野県歌「信濃の国」を子どもたちが県内各地をリポートします。ただいま、取材進行中！ 元旦の新聞を見逃すな！